

農大跡地の振興策は大丈夫か



厚地 覺 議員
動画視聴

問 緑の基本計画の策定は、霧島市総合計画等の位置付けに基づき、目標を平成32年度として整備予定とあった。この策定で、緑の基本計画構想が先か。国体の馬術競技会場の整備が優先か。

答 農大跡地の整備については、県の要請により、平成32年度開催の国民体育大会の馬術競技会場として使用することが内定している。今後、その状況が明らかになってから判断していく。



空き地の適正管理条例の制定はできないか



新橋 実 議員
動画視聴

問 市街地や住宅地の空き地の中には、雑草、病害虫等市民から苦情があると聞くが、その件数・現状と対応はどのようにしているのか問う。

答 年度ごとの件数は、23年度105件、24年度179件、25年度181件と増加傾向にある。市民から苦情があった場合は、現地確認後、土地所有者へ依頼文書を送送し対応している。また、環境美化推進員からの情報提供もあり対処している。国分地区では、平成25年度で約80%改善している。

神話の里公園の経営改善策を示せ

問 霧島神話の里公園(株)の経営は、繰越剰余金が累計で膨大なマイナスとなっているが、この会社の経営改善をどう図っていくのか。

答 神話の里公園は、平成25年度決算の累積で1億4900万円の損失となっている。第三セクターの運営を開始した、平成6年度から平成9年度までの4年間で、人件費や器具備品等の経費で、繰越損失を引き上げている。今後は、減価償却引当等も行い、経理を正常化し、新商品の開発を工夫するとともに、不採算分野の見直しを行いながら、繰越損失の削減に努めていきたい。

第三セクターとは、国や地方公共団体(第一セクター)と民間事業者(第二セクター)との共同出資で設立された法人のことです。

市内業者育成のため、地元業者を下請として活用すべきでないか

問 市長は、地元業者育成の観点をどのように捉えているのか。また、公共工事において、下請に市内業者の活用をお願いしているが、実態はどのようなになっているのか。

答 市内の業者は納税者であり、市内業者を基本的に育成していくことは大前提である。工事の内容によっては致し方ないが、なるべく地元業者を育成できるように要請している。また、平成25年度の5千万円以上の工事、請負工事21件に対し下請件数が241件、市内業者が112件、県内・県外業者併せて129件となっている。

その他の質問
・市道等の公共用地買収について

防犯灯の電気使用料助成における調査・検討結果を示せ



中馬 幹雄 議員
動画視聴

問 平成26年6月議会で質問した防犯灯の電気使用料助成について、調査・検討するとの回答であったが、その結果がどうであったか。

答 県内19市を調査した結果、鹿児島市など9市に補助制度があり、本市を含め10市に補助制度がなかった。また、防犯灯本体の設置補助を全額負担している市は、本市をはじめ3市で、その他は30~50%を受益者が負担している。今後は、省エネと維持管理費の節減に効果があり、電気使用料の負担軽減につながるLED化を進めることとし、本体器

木質バイオマス発電事業が始動する



前島 広紀 議員
動画視聴

問 木質バイオマス発電事業所の建設工事や、燃料となる間伐材等の調達に順調に進んでおり、森林資源の利用推進や新たな雇用の創出により、地域経済の活性化が図られるものと期待されている。関連分野における新たな産業の形成と雇用の創出効果を、どう想定しているのか。

答 今回、用材と燃料材を同時に生産する仕組みが構築されることにより、施業量、搬出量の増加が見込まれる。山で仕事をやる作業班等林業従事者や原木を搬出する輸送関係者、チップ加工に携わる従業者など、新たな雇用が見込まれる。木質バイオマス発電所

具に要する経費は、これまでどおり金額を市が負担する方向で調整している。

現在、市内に7900箇所の防犯灯がある。LED化する経費は、1億6800万円ほどかかるが、年次ごとに実施していきたい。



防犯灯

厳しい財政状況ではあるが、財源をどうにかして確保し、計画的にLED化を促進するための予算を、増額する方向で検討を進めるよう担当者に指示している。

その他の質問
・人・農地プランの活用について

人口減少対策について



池田 綱雄 議員
動画視聴

全体的な取り組みと今後の取り組みについて

問 人口問題研究所では、60年には日本の人口は約30%減少するとしており、霧島市の人口を30%減にすると約9万人となる。人口減少対策についての取り組みと、地方創生を取り入れた今後の取り組みについて問う。

答 本市では、人口減少対策を喫緊の課題と捉え、市内各地の特性に応じ、魅力を存分に活かした地域活性化策など、本市独自の施策を迅速かつ着実に進めていきたい。

公共交通の充実を図れタクシチケットの配布を検討せよ



徳田 修和 議員
動画視聴

問 今後、バス運行事業の展開はデマンド交通を考えているのか。

答 ふれあいバスかデマンド交通かは、地域の要望を聞きながら検討したい。事業費の観点からみてデマンド交通は有効な事業と考えている。

問 デマンド交通を拡充する場合は対応できる民間のタクシ業者はあるのか。事業者の大きな会社でなければ難しいのではないか。

答 本市内には、タクシ業者が10社ある。車や運転手の確保が不可欠なので、大きな会社でなければ対応は難しい。地域公共交通会議で検討し

人口減少対策について

上場・下場地域の取り組みと今後の取り組みについて

問 霧島市には地熱発電をはじめ、工事中の水力、風力、太陽光やバイオマス発電等がある。これらを観光ルートにして、環境にやさしい自然エネルギーの町として観光客を誘致し、活性化を図り人口減少対策につなげられないか。



ていただいている。

問 デマンド交通を見直し、タクシチケットの配布はできないか。事業者の小さな会社でも対応できるので、地域経済を守り、市民サービスの向上につながるのではないか。

答 経費の面も含めて検討したい。

問 溝辺地区だけ、駅との接点がない。鹿児島空港へ単人駅をつなぐバス路線は考えられないか。

答 全体を考えながら、市内を網羅できる交通体制を目指していきたい。



その他の質問
・スポーツ施設の指定管理の現状について